

主な話題

- p 02 9月9日は「救急の日」救急医療週間 9月7日(日)～13日(土) 救急車の適正な利用にご協力ください!!
- p 03 認可外保育施設の保育料の一部を補助します
お好きな映画をお楽しみください!「東海ワンコイン劇場2025」



朝の交通立哨を通して子どもたちの安全を守る

皆さんは、朝の通学時間帯に交通立哨を行っている「東海村民間交通指導員」をご存じですか。

民間交通指導員は、活動の一つとして月に2回、特に危険が多い交差点で、保護者と一緒に交通立哨を行っています。

今回は、村で活動する7人の民間交通指導員の一人、深川節男さんに活動への想いや立哨のポイントなどを伺いました。



【自転車の中学生を見守る】



【保護者も立哨に協力】

【問い合わせ】環境政策課生活環境保全担当(☎282-1711 内線1456)

INTERVIEW



深川節男さん
(東海村民間交通指導員)

平成25年に民間交通指導員となった深川さん。「村のために何かできることがあれば…」という想いで始めた活動は、現在で13年目となる。村内出身・在住。

—気を付けていることは？

小学生は車道に飛び出さないか、中学生は自転車と並走していないか、特に気を付けて見えています。子どもたちが歩く県道は、歩道が狭く、通勤時の交通量も多い。県道につながる村道を抜け道として通る車にも注意しています。止まってくれるドライバーへの気配りも大事ですね。

—良かったこと、うれしかったことは？

元気にあいさつをする子どもたちの笑顔や、皆さんからの「ありがとう」の言葉がうれしい。いつも最後に通る子どもたちを、後ろ姿が見えなくなるまで見送るのですが、このときに、この活動をしていて本当に良かったと思いますね。

—最後に、ドライバーや読者へ一言お願いします

朝、急ぐ気持ちはよく分かりますが、歩行者がいるときは、「歩行者優先」でお願いします。無理な運転で事故を起こしては元も子もないので…。

交通ルールは皆で守ることが大事です。子どもたちのお手本となるよう、大人も交通ルールをしっかり守りましょう。

交通立哨③つのポイント

①子どもを止ませる

飛び出し防止のため「まずは止まる」を習慣づけよう。

②車両に止まってもらう

車を停止させる権限はありません。ドライバーとのアイコンタクトが大事です。

③横断を誘導する

急がせたり青色点滅で横断させたりは、厳禁。

横断する時は「子ども自身にも安全確認をさせること」が大切です。

